

案内

相模原キャンパス オルガニスト養成講座受講生発表会

日時 12月19日(月) 18時15分 開演

場所 ウェスレー・チャペル

東日本大震災の被災地を覚えての祈祷会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

2012年1月11日(水)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分～13時

2011年度 クリスマス献金送付先

今年度も皆様のご協力をお願い致します。

【ソマリア干ばつ緊急支援】

60年に一度の大干ばつで国連が飢餓状態を宣言したソマリアでは、150万人の避難民が発生している。日本ユニセフ協会を通じて、ソマリアの子どもたちの栄養不良の改善、感染症予防のために。

【トルコ大地震、タイ大洪水、ミャンマー中部洪水、フィリピン洪水被災者支援】

トルコ地震被災者に対する緊急医療支援、タイ洪水被災者に対する緊急支援活動などを展開しているNPO法人アムダ(AMDA)を通じて現地の救援活動促進のために。

【アジア学院(栃木県那須塩原市)】

1973年に創立された国際人材養成機関。東日本大震災によって壊された建物の再建や福島第一原発事故による土壌・農作物への放射能汚染問題など緊急課題の早期解決のために。

洗礼を受けられた方へ

教会で洗礼を受けられた方は、各キャンパス宗教センターにお申し出下さい。記念に新約聖書スタディ版を差し上げます。

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、アドヴェント(紫=悔い改め)、「待降節」(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「顕現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨節」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

青山学院大学礼拝週報

2011.12.19.

待降節第4週

No. 28

青山学院の歩み [27]

アーサー・D・ベリー

(Arthur D. Berry)

アーサー・D・ベリーも、先人たちに劣らず、日本と青山を愛し、学院での教育に生涯を駆け、教え子たちから長く慕われた人でした。ベリーはシラキュース大学、ドルー神学校に学び、1902(明治35)年に宣教師として来日し、1905(明治38)年より25年の長きにわたって青山学院に奉職し、神学部長としての重責を果たしました。その豊かな学識、優しさと厳しさを兼備したベリーの愛の深さは、今日なお語り

継がれています。左の写真は現在学院本部の建物となっていますが、関東大震災後の復興計画の一環として1931(昭和6)年に建てられた校舎で、ベリーを中心とする募金運動の努力の結晶です。後にその功績を讃えて「ベリー・ホール」と名付けられました。



今年度の主題聖句

夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを
脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。

(ローマの信徒への手紙 第13章12節)